

原著論文 (Article)

保育士の職業能力について

— 韓国の国家職務能力基準 (NCS) の場合 —

The occupational competencies of nursery teachers: The case in Korean national competency standards

朴 信永¹・伊藤一統²

PARK Shinyoung¹, ITOH Kazunori²

摘 要

国家職務能力基準 (NCS: National Competency Standards) とは、産業現場における職務を遂行するため求められる知識、技術、素養等の内容を、国家が産業分野別・水準別に体系化したものであり、産業現場の職務を成功的に遂行するために必要な能力を国レベルで標準化したことを意味する。NCSの「学習モジュール」とは、具体的な職務を学習者が修得できるように、理論および実習に関連した内容を詳細に提示したものである。本研究では、質保証をとまなう保育者養成・育成のあり方について、NCSと学習モジュールの枠組みの構築に向けて動いている韓国の取り組みを参照することで、保育・幼児教育の制度面において近似している日本へのインプリケーションを得ることを目的とした。韓国産業人力公団のNCS統合サイトでは、NCS「保育」の学習モジュールについて、毎年、修正の履歴を残しながら、議論が続いている様子がみられた。日本への援用を考えるうえで、これらの動静をフォローするとともに、さらに、NCSについての保育現場の受け入れ方を併せてリサーチしていく必要性を感じる。

キーワード：国家職務能力基準，国家資格枠組み，職業能力

Key words：National Competency Standards (NCS), National Qualifications Framework (NQF), Occupational Competency

1. はじめに

保育の質向上の重要性が叫ばれて久しい。社会的投資対象としての幼児教育・保育において、国際的に高く評価されている実践を参照しながら、質の改善のためには実践・評価枠組みの構築が必要である(鈴木, 2014)。また、近年の待機児童問題を背景に、保育者の離職問題への対応のひとつとして、保育士の継続就業モデルを示し、そのキャリアパスを構築していくことの必要性がいわれている。2017年には厚生労働省が、保育士の処遇改善と抱き合わせる形で「保育士等のキャリアアップ研修ガイドライン」を示し、保育所保育士の職務階層の構築へのインセンティブを与えている(厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長, 2017)。これによって、継続就業が担保されるようになると、そのキャリアラダーに応じた研修と職務経験によって成長する人材のモデルが確立されることにつながる事が期待される。

保育者の養成という点に焦点化してみると、保育者養成機関の主をなす高等教育機関に対しては、それぞれの機関の質保証の手立てとして認証評価制度が導入されている。しかし、これは機関別評価であって、職業人を養成しているはずの養

成課程によっての実質的なアウトカムの評価、すなわち、現場で求められる能力をスケールとしたものではない。

保育の現場における質保証の問題では、第一に保育士資格を有していることが条件とされているが、公的なスタンダードである保育士資格は単層の資格基準でしかなく、上記に言及した「キャリアアップ研修」のような研修制度の整備、あるいは養成課程の中身の見直しといった努力に終始しているのが現状だ。一方で、保育現場からは、保育者養成の課程に対して、「保育の知識・技術は現場で学べるので、社会性の涵養などをもっと」といった類の声も多い。事実として、養成課程では保育現場の求める養成について「完了」どころか、どこまでできているのかさえわかり難いともいえよう。

内容における質保証の弱さもみられる。例えば、保育士養成課程の中心的な科目の一つである「保育実習」でみると、同じ福祉系国家資格である介護福祉士養成における「介護実習」について、実習段階により法的に学習内容が詳述されているのと比して、保育実習にはそのようなものはみられない。これには、養成校の「独自性」による学習内容の相違は、実習施設の指導担当者が実習生の養成校が変わるたびに各養成校の学習内容や評価方法をはじめから理解し対応するなどの

¹ 椋山女学園大学教育学部, ² 宇部フロンティア大学短期大学部
2022年11月8日受付

弊害が生じるとの指摘もある（千葉，2008）。2007年には全国保育士養成協議会によって「保育実習指導のミニマムスタンダード」が発表され，2018年には新しいバージョンも出され，「保育実習」の学習内容に統一性をもたせようとしている。

職業教育ということに関する世界的潮流としては，欧州での2002年の「コペンハーゲン宣言」にはじまる「コペンハーゲン・プロセス」において構築された欧州資格枠組み（EQF: European Qualifications Framework）や，2000年から実施されているオーストラリア資格枠組み（AQF）など，職業に関する能力および資格の認証や質保証の促進等について，国家資格枠組み（NQF: National Qualifications Framework）を構築して推進する政策が各国で取り込まれている。現状において，NQFは，世界177カ国以上で開発・導入が進んでいる。NQF構築の目的と意義としては，大学型・非大学型アプローチでの同じ領域の教育プログラムの相互認定，国際的な学位・資格の相互承認，といったことがあげられるが，その背景には，学修成果を通じた教育の質保証，単位互換の保証，職業移動を含むキャリア形成を担保するコンピテンシーによるマネジメントへの期待などがあげられる。

このNQFのアジア諸国での展開のひとつとして，韓国の国家資格枠組み（KQF: Korean Qualifications Framework）がある。これは，教育と産業現場の連携が見込まれる国家職務能力基準（National Competency Standards，以下，NCS）に基づき，学校教育，職業訓練，生涯学習制度，資格制度などを現場中心に改変，連動させる資格枠組みである（大韓民国政策ブリーフィング，2014）。韓国では，2002年から雇用労働部と韓国産業人力公団によって，NCS開発が行われ，2013年には，学力・スペック中心社会から，「職業能力」中心社会への転換をめざした政策の実践によって本格化した。2016

年には897のNCSが開発され，産業現場の職務遂行に求められる知識・技術・素養等を国家が産業分野別・水準別に体系化している（雇用労働部・韓国産業人力公団，2016）。

本研究では，質保証をともなう保育者養成・育成のあり方について，NCSと学習モジュールの枠組みの構築に向けて動いている韓国の取り組みを参照することで，保育・幼児教育の制度面において近似している日本へのインプリケーションを得ることを目的とする。

2. 韓国の保育制度の概要

韓国では日本と同じく，就学前保育に関して，学校教育系統で満3歳からの幼稚園と，保健福祉系統で0歳からを対象とする保育所（オリニジップ）の二つのトラックを有する。また，2013年，この二つのトラックを統合する取り組みとして，満3歳から5歳の幼児を対象とした「ヌリ課程」が導入された。ヌリ課程とは，幼児期の基本的素養や能力の育成を軸に，小学校1-2年生の創意性・人間性教育との連携を強化する内容を，国家の管理する一元的な教育および保育として行うものである。

保育所の保育に従事する者は，「保育教師」であるが，これには保育教師の資格を有することが必要となる。日本の保育士制度と異なる点としては，資格の階層構造の存在および障害乳幼児を受け持つ保育教師の資格基準が設けられている点などがあげられる（表1参照）。保育教師には1級から3級の資格があり（表2参照），さらに1級を取得してから一定の経歴を重ねることで昇級教育を経て園長資格を取得することになる。園長資格の種類は，表3の通りで，園の規模と子どもの障害の有無によって，5つに分けられ各資格別に昇級に要する経歴が異なる。

表1. 障害乳幼児を受け持つ保育教師の資格基準（韓国障害児童福祉支援法施行令第5条第2項）

障害乳幼児のための保育教師の資格基準	
・法第22条第3項に従い，障害乳幼児のための保育教師の資格基準は次の各号の資格が全て必要である。	
1	乳幼児保育法第21条第3項に従い，保育教師2級以上の資格をもつ者
2	高等教育法第2条における学校で，保健福祉部令に定める特殊教育あるいはリハビリ関連科目を履修し，単位を取得した者

表2. 保育教師の資格の種類とその基準（韓国乳幼児施行令第21条）

資格	資格の基準
保育教師1級	保育教師2級+1級昇級教育+3年以上保育業務の経歴
	保育教師2級+保育関連修士+1級昇級教育+1年以上保育業務の経歴
保育教師2級	大学等で保育関連科目および単位（17科目51単位）を履修し卒業した者
	保育教師3級+2年以上保育業務の経歴+2級昇級教育
保育教師3級	高等学校以上の学歴+保育教師養成課程の修了

表 3. 園長資格の種類とその基準（韓国乳幼児施行令第21条）

資格の種類	障害児専門	一般	家庭	乳児専担	40名未満
資格の説明	12名以上の障害乳幼児を保育可能なオリニジップの園長	乳幼児300名以下を保育するオリニジップの園長	乳幼児を5名以上20名以下で保育するオリニジップの園長	満3歳未満の乳児のみ、20名以上保育するオリニジップの園長	乳幼児40名未満で保育するオリニジップの園長

※「一般」オリニジップの園長資格を有する場合、「家庭」、「乳児専担」、「40名未満」オリニジップの園長として勤務可

資格の種類	所持資格		追加経歴の基準	備考
障害児専門	一般オリニジップの園長	+	大学で障害者福祉およびリハビリ関連学科を専攻した者	—
			2年以上	
一般	保育教師1級	+	3年以上	保育等児童福祉における業務経歴
	幼稚園教師1級		3年以上	
	小学校教師1級		5年以上	
	社会福祉士1級		5年以上	
	看護師		7年以上	
	国家および地方自治体7級以上公務員		5年以上	
幼稚園園長	—	—		
乳児専担	看護師	+	5年以上	児童看護業務の経歴
家庭	保育教師1級	+	1年以上	保育教務の経歴
40名未満	2005.1.29以前の乳幼児保育法資格基準による保育教師1級あるいは2級		—	—

※「障害児専門」、「一般」、「家庭」、「乳児専担」オリニジップ園長の資格基準中、いずれかに該当する者は、保健福祉部令で定める事前職務教育（80時間）を受けること。

表 4. 保育実習の基準（韓国保育振興院，2013）

	基準
実習先	・定員15名以上のオリニジップ ・教育課程および放課後過程を運営する幼稚園
実習指導教師	・保育教師1級または、幼稚園教師1級資格をもつ者 ・実習指導教師1名当たり、保育実習生3名以内指導
実習期間	・4週、160時間（大学によって、2回に分けて実施可）
実習認定時間	・平日（月曜～金曜）午前9時から午後7時まで行った場合のみ認定
実習の評価	・保健福祉長官が定める保育実習日誌および実習評価書を根拠に行い、評価点が80点以上の場合のみ履修が認められる。

さらに、保育実習生を受け入れることが可能な実習先の基準や実習指導教師の条件、実習期間、評価の基準が定められている（表4）。

3. 韓国の保育に関する NCS の概要と運用

国家職務能力基準（NCS: National Competency Standards）とは、産業現場における職務を遂行するため求められる知識、技術、素養等の内容を、国家が産業分野別・水準別に体系化したものであり、産業現場の職務を成功的に遂行するために

必要な能力（知識、技術、態度）を国レベルで標準化したことを意味する。

具体的には、24の職業分野（大分類）を中分類・小分類・細分類に分け、細分類が個別の職務を指し、それらは「能力単位」で構成されている。すなわち、職務は、NCS分類体系のうちの「細分類」を意味し、原則、細分類をもとに「能力単位」が開発される。能力単位は、NCS分類体系の下位単位としてNCSの基本構成要素であり、能力単位分類番号、能力単位の定義、能力単位の要素、遂行の基準、知識・技術・態度を含むものとなっている（表7参照）。

表5. 保育教師に係るNCS「保育」の体系（韓国産業人力公団NCSホームページより抜粋）

大分類	07. 社会福祉・宗教		
中分類	03. 保育	01. 社会福祉	02. 相談
小分類	01. 保育		
細分類	01. 保育	02. 産後育児支援	03. 預かりサービス

表6. 各細分類別，能力単位の構成

01. 保育	02. 産後育児支援	03. 預かりサービス
1 生活指導	1 産後サービスニーズ確認	1 預かりサービス支援
2 健康指導	2 妊産婦支援	2 預かりサービス基本業務
3 安全指導	3 新生児支援	3 健康安全支援
4 栄養指導	4 授乳支援	4 情緒支援
5 乳幼児観察および評価	5 日常生活支援	5 身体支援
6 保育課程および運営評価	6 特別妊産婦支援	6 子どもの生活支援
7 発達支援および相談	7 産後育児支援行政	
8 障害児発達支援		
9 家庭との協力		
10 地域社会との協力		
11 オリニジップ管理		
12 保育実習指導		
13 乳児遊び支援		
14 幼児遊び支援		
15 オリニジップ保育計画作成		
16 オリニジップ環境構成		
17 児童虐待対応		

韓国NCSの分類体系で保育教師に関するものは、大分類「07. 社会福祉・宗教」から、中分類「03. 保育」、小分類「01. 保育」、細分類「01. 保育」に含まれる（表5参照）。各細分類別，能力単位のリストは表6の通りである。同じ細分類の枠組み内に存在する「02. 産後育児支援」、「03. 預かりサービス」の能力単位については、今後、「01. 保育」との関係性が示されれば、後述の職能の同レベルであれば、異なる職種間であっても人事異動が可能になると考えられる。

NCSは職能レベルを8段階に分けて設定しているが、保育教師に関しては、このレベルが4～8のところ有能力単位が設定されている（表7参照）。また、レベル4は保育教師3級，レベル5は保育教師2級，レベル6は保育教師1級に即すとしている。保育教師の能力単位については、2016年バージョンでは25個の能力単位であったが、2018年に改訂され、現在17個の能力単位が設定されており、各々の能力単位に応じ学習モジュールが提供されている。

NCSの「学習モジュール」とは、具体的な職務を学習者が修得できるように、理論および実習に関連した内容を詳細に提示したものである。すなわち、現場から求められている職務能力を教育機関で活用できるように、達成目標と学習の方向性を明確に示すガイドラインの役割を担う。NCSのことを、現場からの「職務要望書」とすれば、NCS学習モジュールは、NCSの能力単位を教育機関で学習できるように構成した「教

表7. NCS「保育」の能力単位および職能レベル（韓国産業人力公団，2022）

No.	分類番号	能力単位名	レベル
1	0703010118_16v2	生活指導	4
2	0703010125_21v3	健康指導	4
3	0703010126_16v2	安全指導	4
4	0703010127_21v3	栄養指導	4
5	0703010128_16v2	乳幼児観察および評価	4
6	0703010129_21v3	保育課程および運営評価	5
7	0703010130_21v3	発達支援および相談	5
8	0703010131_21v3	障害児発達支援	5
9	0703010132_21v3	家庭との協力	5
10	0703010133_21v3	地域社会との協力	5
11	0703010134_21v3	オリニジップ管理	6
12	0703010135_16v2	保育実習指導	6
13	0703010136_21v3	乳児遊び支援	4
14	0703010137_21v3	幼児遊び支援	4
15	0703010138_21v3	オリニジップ保育計画作成	4
16	0703010139_21v3	オリニジップ環境構成	4
17	0703010140_21v1	児童虐待対応	4

授・学習資料」といえる。職務に必要とされている能力単位ごとにシラバスが作成されていて、その中には学習の目標や内容だけではなく、教授・学習方法，評価の方法，フィードバックの方法，それぞれに必要な参考資料，道具，留意事項

表 8. 能力単位列「生活指導」

能力単位の要素	遂行の基準
0703010118_16v2.1 基本生活の指導	1.1 乳幼児の基本生活関連活動と、社会的関係を促す活動を、支援する保育環境を造成する 1.2 乳幼児の基本生活関連活動を計画し指導できる 1.3 モデリング、意思疎通、肯定的行動の提案、モニタリングなど乳幼児の生活指導のために適切な教授方法を選択し、適用できる
	【知識】乳幼児の基本生活関連活動の細部内容
	【技術】乳幼児生活指導のための保育環境構成能力、乳幼児行動観察能力、個別乳幼児の日常生活に対する観察および評価基準、乳幼児の基本生活関連活動の指導能力 【態度】乳幼児に対する配慮の姿勢
0703010118_16v2.2 人性の指導	2.1 乳幼児がよい考え、望ましい行動、健康的な性格が形成されるよう人性教育を計画し指導できる 2.2 個別乳幼児の社会的情緒発達の特性によって社会的関係を促す活動を計画し指導できる
	【知識】秩序・配慮・協力・孝行・分け合い・尊重などの人性教育の内容、乳幼児の社会的関係を促す活動の細部内容
	【技術】乳幼児の人性教育の計画および指導能力、乳幼児の社会的関係を促す活動の計画および指導能力 【態度】乳幼児の人性教育の内容を家庭と共有する態度、個別乳幼児の社会的情緒発達の特性を尊重する態度

まで含まれている。また、NCS 能力単位一つにつき、一つの学習モジュール開発を原則とするが、必要に応じ能力単位いくつかをまとめて一つの学習モジュールに開発することが可能であり、逆に能力単位一つを複数の学習モジュールに分けることもできる。例えば、表 7 の能力単位中、最初に出ている「生活指導」の詳細については表 8 に示す通りである。

NCS を導入した教育機関では、学習モジュールを活用して、教育プログラムを各々の機関で開発することとなる。また、なにより成績評価について、今までのように科目の単位を認定するというだけでなく、求められる基準に照らして学習の達成度をきちんと評価せねばならないことが最大の特徴となる。学習が一定のレベルに達していないと判断されると、「向上教育（補習教育）」を行うこととなり、これを受けた学生には、その後、再評価を受けることのできる機会が提供される。実際に NCS を適用した教育を行っている専門大学からは、短期間で NCS を導入し、それにそったマニュアルや教育内容の整備を強いられた苦勞と NCS 導入以前にはなかった業務の増加に対する疲弊感が述べられたが、その一方で、そうした負担が大きいものの、学習の成果を保証する点については評価できるとの声もあった。

表 9 は、2016 年に開発された NCS 「保育」の学習モジュールを示している。当時、25 個のモジュールが作成され、2022 年時点においては、分類番号ごとに 100 頁程度のガイドラインが用意されている。これは、韓国産業人力公団 NCS ホームページで公開され、各種教育機関等で標準教材として活用することが可能である。

2016 年当初から、「保育」の学習モジュールに関しては韓国内の保育現場と保育者養成校との間で認識調査や活用上の問題点等に関して議論が続いている状況であり（ジスンキョン、2006；ジョンユンシユク、2017）、現在、表 10 に示すところまで学習モジュールと能力単位の対応表が作成されている。一つ目の「生活指導」の学習モジュールの目次とページ

表 9. NCS 「保育」の学習モジュールの開発例

No.	学習モジュール名	分類番号
1	遊びの指導	LM0703010104_16v2
2	身体・芸術活動の指導	LM0703010105_13v1
3	言語・数・科学の指導	LM0703010106_13v1
4	保育研究	LM0703010112_13v1
5	オリニジップ運営の方針作成	LM0703010113_16v2
6	オリニジップ保育の計画作成	LM0703010114_16v2
7	オリニジップ環境構成	LM0703010115_16v2
		LM0703010116_16v2
8	保育活動の運営	LM0703010117_16v2
9	生活指導	LM0703010118_16v2
10	身体活動の指導	LM0703010119_16v2
11	音律活動の指導	LM0703010120_16v2
12	美術活動の指導	LM0703010121_16v2
13	言語活動の指導	LM0703010122_16v2
14	数・操作活動の指導	LM0703010123_16v2
15	科学活動の指導	LM0703010124_16v2
16	健康指導	LM0703010125_16v2
17	乳幼児の健康・安全・栄養指導	LM0703010126_16v2
18	栄養指導	LM0703010127_16v2
19	保育評価	LM0703010128_16v2
20	保育課程および運営評価	LM0703010129_16v2
21	乳幼児発達支援	LM0703010130_16v2
22	障害児発達支援	LM0703010131_16v2
23	家庭・地域社会との協力	LM0703010132_16v2
24	地域社会との協力	LM0703010133_16v2
25	保育運営管理	LM0703010134_16v2
		LM0703010135_16v2

数は表 11 の通りであり、保育の現場から求められる職務能力を保育者養成校で活用・指導できるように、学習目標・内容、教授・学習方法、評価方法を明確に提示している。

表10. 開発・調整中の学習モジュール

No.	学習モジュール名	分類番号	能力単位名
1	生活指導	LM0703010118_16v2	生活指導
2	健康指導	LM0703010125_21v3	健康指導
3	乳幼児健康・安全・栄養指導	LM0703010126_16v2	安全指導
4	栄養指導	LM0703010127_21v3	栄養指導
5	保育評価	LM0703010128_16v2	乳幼児観察および評価
6	保育課程および運営評価	LM0703010129_21v3	保育課程および運営評価
7	乳幼児発達支援	LM0703010130_21v3	発達支援および相談
8	障害児発達支援	LM0703010131_21v3	障害児発達支援
9	家庭・地域社会との協力	LM0703010132_21v3	家庭との協力
10	地域社会との協力	LM0703010133_21v3	地域社会との協力
11	保育運営管理	LM0703010134_21v3 LM0703010135_16v2	オリニジップ管理 保育実習指導

※韓国産業人力公団 NCS ホームページによる 2021 年までの開発・調整状況

表11. 「生活指導」学習モジュールの目次

「生活指導」学習モジュールの概要	1
学習1. 基本生活の指導	
1-1. 生活指導のための保育環境構成	3
1-2. 基本生活活動の実行	15
・教授・学習方法	40
・評価	41
学習2. 人性の指導	
2-1. 人性教育の実行	43
2-2. 社会的関係を促す活動の計画および実行	61
・教授・学習方法	82
・評価	83
参考資料	85
各種様式	87

4. 考察と今後の課題

NCS の構築は、標準化された能力基準を明示することにより、教授者には教授内容を、学習者にはゴールを明確化する役割を果たす。これだけなら、シラバスの改良や教職課程のコア・カリキュラムの拡充のようなもので対応可能かもしれない。しかし、何より、NCS 構築のメリットは実質的な質保証のしくみにつながることにある。吉本 (2017) によれば、日本の職業教育プログラムの最大の問題は、質を認定し質の向上を促す方策がないことであるという。保育分野で、キャリアパスを示す必要性が強く認識される所以は、他の職業分野に比べて特に離職が多く、継続就業の割合が低いことにある。ゆえに、適切な能力評価とともに、それが組織として生かされる実のある仕組みが他の職業分野にもまして求められることとなる。NCS は、産業側が必要とするマンパワーについて、養成時および採用時の活用のみならず、生涯にわたる職業能力開発について参照・活用できる基準を国家レベルで提示したものである。そのような意味で現状の課題への

対応と、質の担保実現への可能性をもたせてくれるものと考えられる。

また、NCS と学習モジュールの組み合わせは、もうひとつ、ヨコのキャリアパスを示すことにつながると考えられる。すなわち、職務間でモジュールの共有がある場合、他職種からの移入、もしくは、逆に、他職種への移行というルートを選択を容易にすることが可能になる。

韓国の NCS 開発が本格化したのは、朴槿恵政権下の 2013 年からで、非常に短期間で保育者養成大学における運用という段階まで進めてきたが、あまりに急な展開であったこともあり、養成する側と現場の混乱と抵抗があることは否めない。韓国産業人力公団の NCS 統合サイトでは、それらを踏まえて、毎年、修正の履歴を残しながら、議論を続けている様子がみられる。日本への援用を考えるうえで、これらの動静をフォローするとともに、さらに、NCS についての保育現場の受け入れ方を併せてリサーチしていく必要性を感じるころである。

引用・参考文献

- 千葉弘明 (2008) 「保育実習指導のミニマムスタンダード」を取り入れた保育実習のあり方について 千葉経済大学短期大学部研究紀要, 4, 11-21
- 大韓民国政策ブリーフィング (2014) 「NQF 構築事業のため 2014 年から推進」<https://www.korea.kr/news/pressReleaseView.do?newsId=155940092#sitemap-layer> (2022 年 9 月 22 日閲覧)
- 一般社団法人全国保育士養成協議会 (2018) 保育実習指導のミニマムスタンダード Ver.2—「協働」する保育士養成—中央法規
- ジョンユンシユク (2017) 国家職務能力標準 (NCS) における保育教師の職務遂行能力に対する保育教師の重要度認識の比較 韓国保育學會誌, 17(4), 1-30

ジスンキョン (2016) 国家職務能力標準 (NCS) における保育教師の職務遂行能力に対する保育教師の認識 東義大学校教育学修士学位論文

韓国保育振興院 (2012) 保育教職員の資格取得のためのガイドブック

韓国産業人力公団 <https://www.ncs.go.kr/unity/th03/selectKeywordSearch.do> 韓国 NCS および学習モジュール検索 (2022年9月29日閲覧)

韓国産業人力公団 (2016) 補完 NCS 保育 (株)ヒューマンカールチャアリラン

厚生労働省指定保育士養成施設一覧(令和4年4月1日現在) <https://www.mhlw.go.jp/content/000977023.pdf> (2022年9月15日閲覧)

厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長 (2017) 保育士等のキャリアアップ研修ガイドライン (平成29年4月1日) [\[Koyoukintoujidoukateikyoku/tuuti.pdf\]\(https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/tuuti.pdf\)

キムドヨン \(2016\) 国家職務能力標準 \(NCS\) と専門大学の技術職業教育 電気電子材料, 29\(1\), 7-15

雇用労働部・韓国産業人力公団 \(2016\) 2016年 NCS 開発マニュアル

敬仁女子大学校幼児教育科 \(2016\) NCS 基盤教育課程ガイドブック

鈴木正敏 \(2014\) 幼児教育・保育をめぐる国際的動向— OECD の視点から見た質の向上と保育政策— 教育学研究, 81\(4\), 460-472

吉本圭一 \(2017\) 第三段階教育の国際的な質保証と学位・資格枠組み \(NQF\) —NQF 導入の意義と将来展望— 東洋大学スーパーグローバル大学創成事業セミナー FCE 連続セミナー第1回配付資料 \(2017年11月18日\) 東洋大学白山キャンパス](https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-</p></div><div data-bbox=)